

第 157 回 番組審議会資料

株式会社エフエムしみず

- 【日 時】 令和 4 年 9 月 20 日(火) 午後 1 時 30 分～清水マリンターミナル会議室
で開催予定でしたが、台風 14 号の影響を懸念し、書面審議に切り替えました。
- 【審議委員】 望月紀久朗委員長、小堺昭宏委員、新井映子委員、青木真咲委員、岡嶋基晴委員、大塚 泰委員、見宮正章氏(伊藤委員代理) 以上 7 名
- 【エフエムしみず】 堀川恵司、西智樹、佐野勝美、是永真由子
- 【審議対象番組】 令和 4 年 9 月 18 日(日) 午前 10 時～12 時 55 分 放送
特別番組「地球からのシグナル～小さな命と未来へ～」
出演：吉岡春菜さん・神白麻衣子さん(ジャパンハート)、油井亀美也さん(宇宙飛行士)
澤柿教伸さん(南極昭和基地越冬隊長)、牛尾収輝さん(国立極地研教授)ほか
進行：是永真由子、夏木かおり、岩崎光美、由奈

<企画意図>

大雨、洪水、熱波、干ばつなどの異常気象は地球規模で暗い影を落としています。日本でも観測史上二番目に早い梅雨明けと記録的な集中豪雨、近海での台風発生など私達の生活にも迫っています。番組では、ISS(国際宇宙ステーション)から見た地球を宇宙飛行士の油井亀美也さん、南極での調査観測活動から見えてきた地球の変化を第 63 次南極観測越冬隊長の澤柿教伸さん、国立極地研教授の牛尾収輝さん。一方、放置竹林の再生と新商品開発に取組む季咲亭社長の小泉幸雄さん、カンボジア等で医療活動を続けている日本の医療チーム・ジャパンハート理事長の吉岡春菜さん、神白麻衣子さんのお話しを通して豊かな地球を守る為の意識の必要性と行動について考えていきます。

<審議委員各位からの意見>

◆望月紀久朗委員長

前回の番組審議会終了時に本日審議する番組の前振りがございました。ローカルなコミュニティ FM 局がどこまでできるのか楽しみにしておりました。

実際聴いてみますと、よくネタを集められたことに先ず感心しました。南極観測隊越冬隊の話題はご当地の清水港に時折来港する関係もございましたでしょうからある程度は想像の範囲内でしたが他の話題はどのようなコネクションか改めて聴いてみたいところです。

今回の企画がSDGs 絡みだとは思いますが今回の放送で聴取者にとってどのような反応を期待して番組を制作したのか、「世間ではこんなことがあるよ」という啓蒙番組なのか... 話題が壮大であればあるほど私たちはどうしたらよいか困惑している状況かもしれません。

一方で、この手の番組をローカルコミュニティ FM 局でもできるということが確認できました。

素晴らしいことだと感じております。物事継続が大切とも言われます。番組制作は大変ご苦労されたとは感じますが是非継続していただければと感じております。

◆岡嶋基晴委員

宇宙から・南極から・東南アジアから、また研究者として・実際に現場で医療を提供する方からといった様々な視点から、それぞれの方々が抱えている危機感・思いがよく判る内容でした。

そこで語られた危機感や課題は地球環境に対してであったり、その地域の人々がおかれている環境であったりと置かれている立場の違いから内容の違いはありましたが、目の前のことだけでなく、より広い視点で未来を見据えて話をされていることが印象的でした。

また、課題に向けてでは、一人一人の出来ることは小さいが、それが最終的に大きな影響を及ぼすことが出来る、まずは一步を踏み出すことの大切さを皆さんが共通してお話をしていたことが非常に印象的でした。

どちらを選べば得ではなく、どちらを選べば世界がより豊かになるかという選択を一人一人がしていくことが大事という言葉が非常に心に残りました。

是非、色々な人に聞いていただきたい内容だったと思います。これからもこの様に将来に渡って我々は何を考えるべきかといった内容の番組を少なくとも良いので続けて頂きたいと思います。

◆新井映子委員

宇宙飛行士の油井亀美也さんのお話は語り口が大変美しく、聞き惚れてしまいました。水が存在する地球がいかに美しく、そして尊いものであるのかを再認識しました。通常、このような番組はNHK 特集などで映像として見るのがほとんどで、番組をお聞きするまではラジオから届く音声のみでどのくらい自然に対して興味や理解、感動が得られるのか疑問でした。しかし、ラジオを聞いていると自ずから頭の中に美しい映像が浮かびあがり（NHKのお陰かも）、とても良かったです。

これは私の中での大きな発見でした。貴重な体験をありがとうございました。また、南極のお話も良かったです。こちらの方も、宇宙から見た地球の映像ほど鮮明ではありませんでしたが、頭の中に情景が浮かびました。視覚情報があふれかえっている現在、改めて視覚を用いないラジオというメディアの有効性を認識致しました。

一方、短縮版の編成上の理由からかもしれませんが、ジャパンハートの吉岡春菜さんと神白麻衣子さんのお話は、それ自体とても重要で貴重な内容と思いますが、前のお話の地球環境とのつながりがよく理解できず、少しとまどいました。すべてを聞くべきであったと反省しております。また、放送ではあったのかもしれませんが、カンボジアが置かれている政治や社会の情勢等を知っていないと、ジャパンハートの活動の意義が十分に理解できないのではないかと思います。その辺はいかがだったのでしょうか。

以上、簡単な記述で恐縮ですが、よろしくご検討お願い申し上げます。

◆見宮正章氏（伊藤委員代理）

出演された方、一人ひとりが貴重な体験を話しており、宇宙飛行士の油井亀美也さんのインタビューで「宇宙と地球を隔てる空気の層が非常に薄く驚いた。水も空気も少ないんだ」という宇宙から

見ないと実感できない話は、とても貴重な話だと感じました。

第 63 次南極観測越冬隊長の澤柿教伸さんの「南極は地球環境を見る窓と言われ、汚染物質が少ないピュアな自然を観測できる。南極周辺の海が変化し氷の量が減っている」などの話を聞いて、ひとり約3分のインタビューでは物足りなさを感じました。

ジャパンハート理事長の吉岡春菜さんの「どんな患者も断らない、心が救われる医療をしよう」、神白麻衣子医院長の「不衛生な環境から来る病気や、子どもが産まれたときのトラブルが多い」という話で、日本は恵まれていると考えさせられました。

大きな視野を持つ方々の話を聞くことで、環境問題や貧富の格差など様々なことを考える良い機会となりました。

インタビューに入る前の普段の生活では聞くことができない場所の貴重な音を聞くことができ、その場の雰囲気を感じることができました。宇宙ステーションや昭和基地内でしか聞けない「音」のエピソードがあれば聞いてみたいなと思いました。

◆青木真咲委員

奇しくも先週の水害もあり、非常にタイムリーかつ重要なテーマの特別番組を企画制作され、かつとても豪華な出演者の貴重なお話を聞くことができる価値のある番組だと感じました。

これほどのメンバーからお話を聞けることが素晴らしいネットワークだと思いますし、現地の「リアルなサウンド」が随所に入っているのもラジオならではのユニークさだと面白く拝聴いたしました。今後一層、重要になるテーマだと感じます。こうした特別企画はぜひ今後も発信いただきたいです。

一方、この特別番組が1回きりのものか、数回連続するものかなど全体像が理解しきれていませんが、全体として少し唐突で、聴取者がどのような心持ちで聞けば良いかが分かりづらいと感じました。「豊かな地球を守るための意識の必要性と行動について考えていく」との企画意図ですが、1つ1つのトピックスが「宇宙」「南極」「途上国の医療」と、ボリュームミで豪華なものであるに對して、インタビューが非常に短時間・淡泊にまとまっている印象で、聴取者が考えを膨らませるには難易度が高いようにも感じました。

諸々のご事情などを鑑みない立場で勝手に申し上げると、ご出演者1人1人を1回分の放送でじっくりと聞き、またそこから考えを巡らせるような時間があっても良かったと感じました。

◆小堺昭宏委員講評

今回のテーマの放送は、宇宙から・南極から・カンボジア（東南アジア）から地球規模で環境や医療問題を考えるというグローバルな視点で良い内容だと思いました。

特に「シンクグローバル、アクトローカリー」という言葉は印象に残りました。地球規模でのコロナ問題や台風・ハリケーン等の異常気象など、個人個人の行動が重要であることを再認識することができました。

◆大塚 泰委員講評

番組冒頭で触れられていましたが、音を通じて、地球の上の国際宇宙ステーション (ISS) と地球の

極地である南極、カンボジアプノンペンをイメージするという、ラジオの特性を活かした番組だと思えます。

環境問題、SDGs というと大きな問題で、市民からは遠くの、自分には関係ない問題と捉えられてしましますが、コミュニティ FM という身近なツールで聴くことで、自分ごとの問題として捉えるリスナーが増えることを期待しています。

<今後の特別番組>

□Jリーグ中継

10/22(土)16時～ 清水 vs ジュビロ磐田、10/29(土)15時～ 清水 vs 鹿島アントラーズ

□JA しみずアグリフェスタ

11/20(日) 清水マリンパーク

□第30回市民による歓喜の歌大演奏会

12/4(日)14時～ 清水マリナート大ホール

(了)